

# 平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	大堀川1号雨水幹線整備事業			会計	款	項	目	大事	小事
政策	O1	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）	主管課	下水道建設課					
施策	1-6	安全性と快適性を兼ね備えた河川・排水路整備	主管課長	浅川 晃					

## I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東初石・美田地域の住民	意図	雨水幹線整備を行い浸水被害を解消する。
事業内容	計画降雨に対する雨水排除能力を向上させることにより浸水被害が解消され、安心して安全な住環境を提供する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成26年度に基本計画を策定。 平成27年度に事業認可を取得。 平成28年度に実施設計（詳細設計）を実施。 平成29年度に雨水幹線工事を実施、平成30年度繰越で完了。 平成30・31年度継続事業で雨水幹線工事を実施中。			

## II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	設計業務委託成果	1	0	0	業務	→→
②	雨水幹線整備率	0	14	33	%	↑↑↑	整備済延長÷全体整備延長(430m)	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成29年度から雨水幹線工事を開始し、平成30・31年度継続事業の雨水幹線工事を実施中。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		21,166,100	5,862,890	137,040,880				
事業費(b)(円)		17,733,600	2,506,890	130,448,880				
うち一般財源		4,733,600	2,506,890	75,448,880				
職員給与費(c)(円)		3,432,500	3,356,000	6,592,000				
人役・職員(人)		0.50	0.50	1.00				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

## III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

### (1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

### (2) 事務事業の改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	・工事を円滑に進めるために関係機関との調整を図る。	③取組における課題(Check)	・大きな構造物（ボックスカルバート）を埋設するため、施工の段取りによっては周辺環境に与える影響が大きくなる。
②H30に実施した取組(Do)	・支障物件の移設を行った。地元住民に対して事業内容について周知した。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	・施工箇所がグリーンバスルートと重なることから、交通規制や周辺住民への悪影響が最小限となる施工方法の調整を実施する。